

医事問題委員会

平成 27 年度 事 業 報 告

本委員会は、耳鼻咽喉科関係の医療事故ならびに紛争の判例を調査し、医療事故、紛争に関する知識と対応を研修し、また所属医師会、日耳鼻医賠償審査会と緊密な連絡をとって会員の立場を擁護し、正しい医療行為の実践されることを目標として、次の活動を行った。

1. 委員会を平成 27 年度は 3 回開催した。
2. 第 40 回日耳鼻医事問題セミナーを平成 27 年 6 月 27・28 日、島根県地方部会の担当（会長：川内秀之）で松江市において開催。参加者 109 名。「島根県地方部会医事問題アンケート調査結果報告」郷原良治氏、「地域におけるがん診療連携拠点病院での医療安全管理」廣瀬昌博氏、「医療情報の適正管理と問題点」花田英輔氏、「耳鼻咽喉科領域の救急疾患」・医療過疎地域での取り扱いの基本を白石吉彦氏、・救急疾患マネジメントー当科の治療経験からーを川内秀之氏、「医事紛争における島根地域の特色ー風土や人間性からの考察ー」熱田雅夫氏、アナフィラキシーショック、救命救急の現状と対応」定光大海氏らの講演とパネルディスカッション「事例を通して」（事例紹介：郷原良治氏、パネリスト：熱田雅夫氏、廣瀬昌博氏、青井典明氏）ならびに委員会報告を行った。
3. 日耳鼻医事問題委員会ワークショップおよび全国会議
平成 28 年 1 月 30 日（土）に、テーマ：事例に学ぶ医事紛争。過去数年間の医療事故に関するアンケートの事例を分析し防止のための工夫の検討を行った。また医療事故に関するアンケート調査の結果報告ならびに委員会報告を行った。
4. 「医事紛争とその問題点」31 巻を刊行した。
5. 勤務医師賠償責任保険を平成 27 年 10 月 1 日、所得補償保険・長期障害所得補償保険は平成 28 年 3 月 1 日にそれぞれ継続手続きを行った。平成 27 年 12 月末日現在加入者数は、勤務医師賠償責任保険 2,437 名、所得補償保

険 62 名、長期障害所得補償保険 22 名。

6. 日耳鼻医賠償審査会と連絡をとり、医事紛争の合理的解決に務めた。
7. 日本医療安全調査機構の調査分析事業に協力した。
8. 医療事故アンケート調査のデータベースバージョンアップ委員会で各領域（耳、鼻、口腔・咽頭・唾液腺、喉頭・頸部、頭頸部）でデータベースから抽出したい医療事故検索のためのキーワードの設定を行った。